令和２年度事業計画

《令和２年度の方針》

今年度も、交通の拠点としての「港」から、今治市民が活躍し、創造し、発信する拠点としての「港」への転換を図ることで、今治港を「交流」の港へとしていくことを推進します。

はーばりーを起点とした賑わいの仲間づくりを強化することで、中心市街地を回遊する機会をつくり、交流人口を増やしていきます。

ミナトデハタラク・今治海 Kids 倶楽部は継続事業とし、ＩＣＰＣのミッションにあげている「若者が帰ってこれるチャンスの多い街にする」という目標を達成するため人材育成事業を推進します。

《事業計画》

〇海洋資源・地域資源を活用した事業

今治海 kids 倶楽部～海と日本 2020～

今治には、海関連の国・企業・市民団体の情報が網羅されたものはありません。また各々が開催している事業が、何の問題解決に作用しているのかもわかりにくいところがあります。海のお仕事図鑑の今治版を作成します。

このプラットフォームには２つの目的があります。１つは SDGs の 17 の目標の様な一読してわかる海問題の表記。そしてもう一つは各団体が持っており共有できるノウハウ等の開示です。この情報は海事人材育成、及びイベント等の事業開催に置いて有益な情報源となります。

〇観光振興・地域振興を図るための事業

みんなでつくるミナトのおもてなし

今治港が新しくなり、散歩・サイクリスト等、公共空間で過ごす方が多くなっております。船を利用するサイクリストは多い時で一便 20 名余りにものぼり、サイクルスタンド、野外休憩スペースが足りない状況となっております。これらの方々に心地よく過ごしていただくため子どもさんと共に椅子等をつくります。県産材を通して、木の温もり・おもてなしの心をアピールします。